

患者の主観的評価に基づく医療 QOL 評価の新しい実践

日時 2024年11月23日(土) 12:30~16:30

場所 公財) 東京都医学総合研究所 講堂 東京都世田谷区上北沢 2-1-6

講師
中島 孝 (国立病院機構新潟病院 院長) 井手口 直子 (帝京平成大学 薬学部)
中山 優季 (東京都医学総合研究所 難病ケア看護ユニット)

対象 難病ケア、緩和ケアに関心がある医療職・介護職、ほか関係者

定員 先着 30名

参加費 無料

申込方法 申込みフォーム URL <https://forms.gle/m6rcntKFRnKnmZhr7>
あるいは、右記 QR コードからも申込み可能

申込期限 2024年11月8日(金) ※ 定員に達し次第、受付終了します



プログラム

- 症例提示
- 現代における喪失のケアー緩和ケア・難病ケアにおける QOL
- 実践演習
SEIQoL における面接の基本
ステップ 1 | ロールプレイ法による Cue 抽出
ステップ 2 | レベルの決定
ステップ 3 | Weight の推定
SEIQoL のデータ入力と解析・評価
- 総合討論

医療の目的は患者の QOL (Quality of Life: 生活の質) の向上です。

QOL の測定法は数々ありますが、客観的な視点で一元化する方法を、緩和ケアや難病ケア領域など治癒を目標とできない領域に適用すると、時として「死」よりも低い評価値がでて、ケアの視点を失うだけでなく、医療の配分の視点で切り捨てられる危険をはらんでいます。患者の主観的 QOL 評価法としての「SEIQoL」は、アイルランドで開発されましたが、代表的な患者の報告するアウトカム (PRO: Patient reported outcome) とされ、臨床研究に多く使われています。

人は状況の変化に応じて生活の中で大切に考える事柄やその優先順位を変化させ評価を変えています。それをとらえることで、真の緩和ケアの実践を可能にします。この「SEIQoL」を最新システム (ご自身のタブレットあるいはスマートフォンを使用します) で体験するセミナーを開催します。

皆様のご参加をお待ちしています。